

DEREK PRINCE MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

聖餐式の重要性

私は子羊の血と自分の証の言葉によってサタンを克服し、死に至るまで自分の命を愛しません。



日 74/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

「いのちは血の中にある」ことを学んできました（レビ記１７：１１参照)。いのちを得たいのなら、その血をいただかなければなりません。私たちは、聖餐式を受けることによって、また証しのことばによってそれを行います。

私にとって、聖餐式にあずかることは非常に重要なことです。パウロは、コリント人への手紙第一１１章２５節でイエスのことばを引用してこう言っています。

> 「この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」

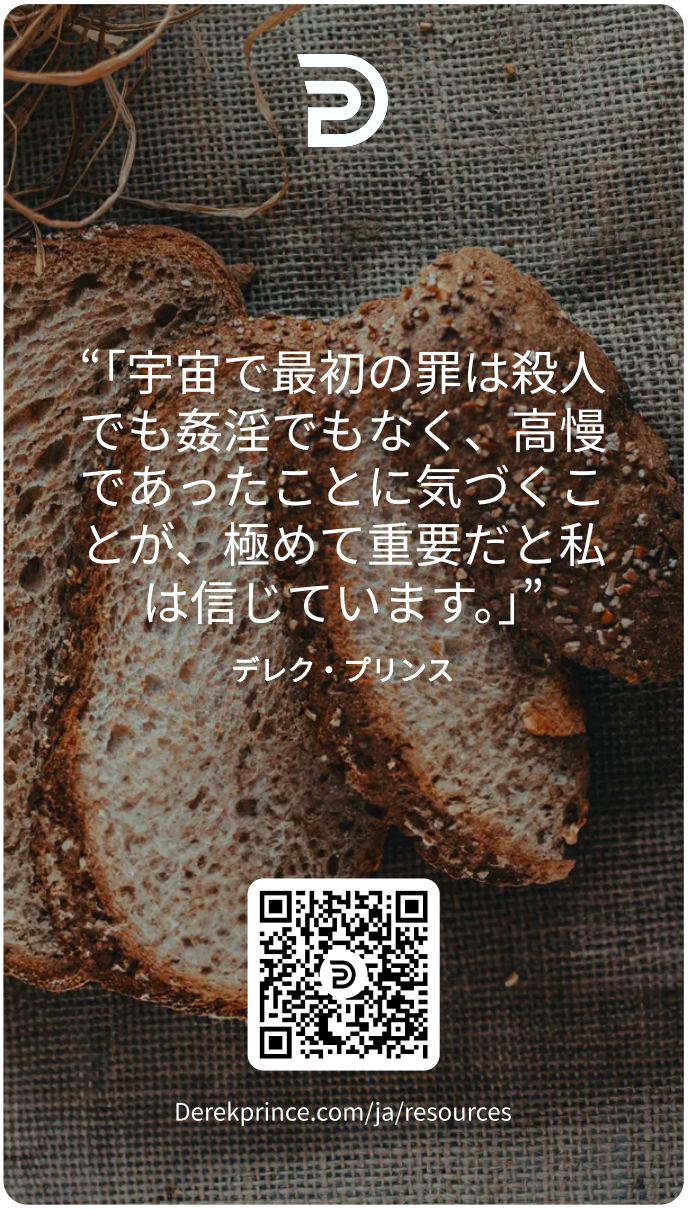
多くの教会は「それをするのはめったにない」と考えています。私が今まで参加した中で最も美しい礼拝は、典礼的な聖餐式でした。それらはその事実を大切にしていたので、とても美しかったのです。

ある時、妻のルースと私は、聖餐式をもっと頻繁に行うべきだと感じました。私は家族の祭司として、毎朝のデボーションの時間に聖餐式を行うことにしました。すべてのクリスチャンがそうすべきだと言いませんが、私たちがそうしてきたことに感謝しています。それをしていなかったら、自分たちの生活から何かが抜け落ちているように感じていたでしょう。

毎日、聖餐式をするときに私たちはこう言うのです。「主よ、このパンをあなたのからだとして、そしてこの杯をあなたの血として受け取ります。」私はシンプルで具体的にこう言います。「主よ、あなたを覚えてこれを行います。あなたが来られるまで、あなたの死を告げ知らせます。」聖餐式において、私たちにあるものは過去ではなく、十字架であり、私たちが待っているものは、未来ではなく、再臨です。イエスが来られるまで十字架を覚えて聖餐式を行います。私たちは、イエスの血の中にあるいのちを本当に用いているかどうかを考えさせられるのです。

感謝します、主よ、子羊の血のために。私は聖餐を通してその血にある命を受け入れ、子羊の血と私の証の言葉によってサタンに勝利することを宣言し、死に至るまで自分の命を愛しません。アーメン。

ディボーション ★
原稿: WD-B097-074-JPN
最終更新日: 08 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources



© 2008 - □□□□